

東京慈恵会医科大学第三病院

春の就職説明会開催！

Come and see me. みんな仲間になろうよ！！

◆慈恵医大第三病院ってどんな病院？◆

当院は、65年前に慈恵医大付属病院の中で3番目につくられたので「第三病院」と命名されました。（直球です！）最近、病院名に地名が使われる事が多いのですが、第三病院と隣接して建つ医学部や看護学校の敷地は狛江市と調布市の両方にまたがっています。2022年に新病院が建築される予定ですのでこの先病院名がどうなるかは、それまでの宿題です。

病院機能は、581床の急性期病院・地域の中核病院であり、急性期医療はもちろんのこと、医療チームで行う「緩和ケアチーム」「褥瘡対策チーム」[NST][RST]などが活発です。そのコーディネートを看護師が担い、最善を尽くす医療と看護を実践できるように活躍しています。

特色は■ナイチンゲール理論を用いた現任教育 ■活発な医療連携 です。

新採用者の離職率は低く、入職したら継続できる「噛めば噛むほど味がでる」それが慈恵第三病院なのです。

なぜ、ナイチンゲール看護理論？

それは、個別の看護を可能にする理論だからです。ナイチンゲールの示した「看護のみつめ方」「人間のみつめ方」「健康のみつめ方」「病気のみつめ方」に照らすと、関わりが難しいと思われた患者さんの看護がキラリとみえてきます。その為の現任教育を工夫しています。ここは来てくださったときに詳しくお話しします。

なぜ、医療連携に力を注いでいる？

それは当院にとどまらず、この地域の中で患者さんとともに歩いていくためです。

外来から入院、退院後に在宅に至るまで入退院管理システムが機能し、患者さんやご家族をサポートしています。また、院外の医師・看護師との連携も重視しています。地域にいる方々の健康を地域の医療機関で協働して支援する。社会の中で、笑顔が輝くよう支えることが目標です。数年前に入院していた患者さんから「久しぶりだね。今も元気です。あの時出会えたから今がある。あの時頑張れるよう支えてくれてありがとう」と数年後に直接言葉をいただける。顔がみえる関係が地域密着型の当院の良いところであり、頑張って勤務していて良かった！と心が揺さぶられる瞬間です。

日程：平成27年3月27日（金）

時間：13:30～16:30（時間内ご自由にお越しください）

場所：東京慈恵会医科大学附属第三病院 新医局棟会議室
アクセスは募集要項またはホームページを参照してください

参加対象：看護学生

内容：① ブースコーナー：個別あるいはグループで説明を行います
② 展示コーナー：看護部の活動をご紹介します
③ カフェコーナー：お茶を飲みながら気軽にお話ししましょう！

申込先：①春の就職説明会参加希望②氏名③学校名④卒業年⑤連絡先電話番号をお知らせください。

メール：猪俣英子（担当師長） e_inomata@jikei.ac.jp

電話：03-3480-1151 内線 3501～2（看護部）

JIKEI NURSE

「感じる心」「考える力」
「人と関わる力」を
持つ看護職者